

實力に訴へても其の主張を通さねばならぬ。

錦州攻撃當時風一雲急となりしにも不拘手出しをなさなかつたのは日本海軍の威力に依るのである、第二次海軍計劃が成立すれば来るべき重大危機に當り沈黙の威力を以て打勝つ、滿洲國資源開發に全力を注ぎ經濟的に強固となるならば歐米の脅威を受くる事はない。經濟上の英國は世界五分の一の土地を所有するが自國の維持上殖民地は其の死活問題である、國內に七百萬の失業者を有し莫大なる救濟費を要して、七百五十億弗の負債を有し年三十億の利子と大戦軍人恩給十億を支拂ひ經濟は甚だ逼迫して居る、故に殖民地經濟を統制し支那にその濟安地を求めんとして努力しつゝあり、シンガポール軍港の完成は明らかに日本に對する海軍根據地である。米國は大戦後東洋に大市場を得べく努力し、最近歐州一圓に

對する投資額は五百六十億弗に達してゐるのであつて現在では自國の不況切抜け策として支那に投資せんと努めてゐる。東洋人は白色人種の搾取から逃がれて東洋人の亜細亞を建設せねばならぬ、この吾々の主張を承認せしむるには軍備の擴張が必要だとして三千年來の建國精神を辱しめてはならぬ。

○昭和維新の目標

陸軍中將 一子石官太郎氏

數年後には超非常時が来る、御歳僅か八歳の安徳天皇が壇の浦海底に沈まれたのは源平政權争奪の結果である、民政、政友の争ひはより以上である、五、一五事件の被告の手に依り行はれた革正は天誅である、齋戒沐浴して陛下を拜し、次に父母を拜し軍人勲章を拜讀して刑を待つ被告を見る時涙なくしては見れぬ、都々浦々に至る戒刑運動は國民の既成政黨、財閥、重臣に對する不信任の意思表示であらう。選挙の買収